

社会人将棋団体リーグ戦 細則

- ①方式 1チーム、7人制の団体戦とし、各リーグとも、原則、総当たりで試合を行う（但し16チームを超える場合を除く）
- ②編成 1部から7部で構成し、リーグ数、チーム数、昇降級数、対戦順等は、別途公表するリーグ表のとおり
チーム数は各リーグ16チームによる編成を基本とするが、エントリー状況により変更することもある
- ③日程 毎年、6月から11月の日曜に開催し、4日間を基本とする。また、これとは別に個人戦・団体個人戦を行う場合がある。詳細については理事会にて決定し、当該年度の開始前に公表する。
- ④勝数
勝点
1. 各試合、勝利対局1局につき勝数を1とする（不戦勝も1）
2. 引き分けは、勝数を0.5とする（負け、双方欠場はともに0）
3. 試合後、勝数が4以上のチームは勝点1、勝数3.5のチームは勝点0.5を獲得する
- ⑤順位 チームの順位は以下のとおり決定する
1. 勝数の多いチームを上位とする（但し試合数の違うリーグがある場合は勝率とする）
2. 1 で同点の場合は、合計勝数の多いチームを上位とする
3. 2 で同点の場合は、リーグ表で上位のチームを上位とみなす
4. 各クラス上位チームは表彰を行う
5. 各クラスで個人成績優秀者（原則各クラス1名、リーグ成績14勝以上）を表彰する場合がある
- ⑥昇降 1. 昇降級、入替戦は各リーグ表に記載された通りとし、入替戦は1試合行う
2. 各リーグの入替戦を実施するかどうか、また、入替戦の組み合わせ方法は、理事会で決定する
3. リーグが複数ある場合は昇降級を決定した後、残留したチームを各リーグに均等に入れ替える
4. 複数のリーグがある場合、代表者が同じチームは同一のリーグには入れないようにする
5. 上位のリーグに空きができた場合は、前年の順位から、(1)下位リーグで昇級しなかったチームの最上位、(2)降級したチームの最上位、(3)繰り上げ、(4)降級取消し、を交互に繰り返してリーグを再編成する
6. 新規チームは、希望を確認のうえ、原則として4～7部の下位へ追加することとし、理事会で決定する
7. チームが復帰する場合、原則として休会前の最終所属・順位を考慮し、各リーグの下位に追加する
- ⑦登録 1. メンバー表に記入された選手は、そのチームの選手として登録される
2. メンバー表に記入された選手は、その年度は他チームの選手として出場はできない（二重登録不可）
なお二重登録を防ぐため、登録は本名（もしくは広く通用している通称）で行うこと
- ⑧対戦 対戦順はリーグ表の記入順とする
- ⑨試合 1. メンバー表は、試合開始10分前までに出場選手を記入し、メンバー表を相手と交換する
2. メンバーが6人以下の場合
大将から順に途中に空白をもうけずに記入し、会場にいない人はメンバー表には記入できない
対局開始後に選手が来た場合は、来た順に随時上位からメンバー表に記入できる
3. 先後の決定は大将の振り駒により、以下奇数の選手は大将と同じ、偶数の選手は大将と逆の先後となる
4. 対局者がいない場合でも、時計は進行させておく。時間切れは不戦勝となる
5. 対局が終わったら、勝ちを○、負けを×をメンバー表の該当する数字の上に記入する
6. 全対局終了後、双方のチームで結果を確認・記入し、勝チームの代表者はメンバー表を本部へ提出する
- ⑩対局 1. 時間 持時間はリーグごとに定め、使い切ったら1手30秒とする
進行状況により1手20秒となる場合がある
2. 反則 (1)二歩、打ち歩詰め、待った、二手指し、行き所のない駒、連続王手の千日手、等の禁じ手及び待ったは即負けとなる。
なお、禁じ手の指摘は対局者のみ可能。但し投了後の発見は投了優先とする
(2)駒から手が離れたら着手とみなす。時計を押ししていなくても、駒を戻すことはできないので注意すること。なお、時計のボタンは指した手で押さなければならない
(3)対局中はスマートフォン及びその他の電子機器は操作しないこと
ソフト指しが認められる等、審判が悪質と判断した場合、当該対局を反則負けとする
また、その場合、理事会の決定により当該チーム及び個人を失格とする場合がある
3. 千日手 同一局面4回で成立、先後を交代し、指し直しとする
指し直しの場合、時計の位置は変えず、持ち時間はその時の残り時間で続行する
千日手2回、または、20秒将棋となった後の千日手は引き分けとする（双方勝数0.5）
4. 持将棋 持将棋の成立は審判の裁定に従う（審判への申し出は可）
勝敗は27点法とし、同点の場合は後手の勝ちとなる
5. 遅刻 試合が開始されれば、すぐにも時計を押して良い
中途入場者は持ち時間があればそこから対局する
6. 時計 対局時計の残り時間がゼロとなった場合は負けとなる
但し設定ミスやその他の時計のトラブルの場合は時計を正常な状態に戻し対局を継続する
7. 判定等 試合中のトラブルに関する判定は、全て審判の判断による
- ⑪ランク リーグ戦の対局は全てランキングで計算される（引き分け・不戦勝は除く）
- ⑫運営 リーグ戦等の運営は、理事会が加盟チームから運営委員を選出するので、協力すること
リーグ戦等の椅子、机、盤、駒、時計の設置・片付けは当番制とし、当該年度の開始前に割り当てる
割り当ては各チーム年1回、朝の設置か試合終了後の片付けのいずれかを行う